



第70期  
(平成30年3月期)  
第2四半期 決算説明資料

平成 29年 11月10日

トーイン株式会社



証券コード：7923

## 第70期 第2四半期 連結決算概要

### 注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前期比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の持ち直しやIT産業を中心に輸出が増加したことなどで緩やかに回復いたしました。地政学的リスクの高まりなど海外の政治・経済情勢に不安を抱える状況で推移いたしました。

包装資材業界においては、国内の雇用情勢は緩やかな改善傾向が続いたものの大手企業の賃上げ率や夏季賞与が前年並みにとどまったことや少子高齢化の進行による将来不安を背景とした節約志向などで個人消費は緩慢な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、営業・生産それぞれの組織の目的達成を重視する体制整備を図り各々の活動に注力してまいりました。包装資材事業においては、国内の売上高は、新規取引先開拓や既存客先からの受注拡大に向け、営業体制の強化を図り、当社技術のアピールや企画提案型の営業活動を継続的かつ、きめ細かく実施したことで、化粧品分野の売上が堅調に推移し、食品・日用品・医薬品の分野も底堅く推移いたしました。また、海外においても、特にベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）の売上が引き続き増収基調を維持したことなどにより売上高は5,388百万円（前年同期比9.1%増）となりました。利益面については、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、売上が増収基調にあり、生産ラインを増設するなど着実に生産性・採算性を向上させつつあるものの、まだ、固定費の回収には至っておりませんが、国内において生産体制の整備や製造部門と製造間接部門が一体となった生産の効率化・安定化、品質保証の徹底などの諸施策を推進し、まだ、不十分ではありますが製造コスト低減に貢献し増益となりました。

精密塗工事業は、営業体制の強化や展示会出展によるマーケティング力強化などにより新製品の受注獲得に注力したことで売上高は394百万円（前年同期比48.2%増）となりました。利益面については、売上高の増加や生産技術力の強化などによる生産の効率化などで増益となりました。

その他事業は、受託包装において安定的な定期品を受注したことなどで、売上高は280百万円（前年同期比10.1%増）となりました。利益面については、主に売上高の増加により増益となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は6,063百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は233百万円（前年同期 営業損失30百万円）、経常利益は227百万円（前年同期 経常損失127百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は116百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円）となりました。

## <当期のトピックス>

平成29年 9月 パッケージ業界初となるオフセット印刷方式の問題を解消した次世代型印刷機の本格稼動を開始する。

### <概 要>

およそ20本以上あるインキローラーを1本に集約することで、リピート柄の発生を解消できる画期的な印刷機であり、リピート生産時に機械内に蓄積された初回データを元にして安定的な再現性が図れる印刷機

9月 特殊形態対応の最新鋭高速グルアーを導入する。

## 第70期 第2四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第70期 第2四半期		第69期 第2四半期		対前年 同期比	備 考	
		%		%			
売 上 高	6,063	100.0	5,458	100.0	605		
売 上 原 価	4,934	81.4	4,645	85.1	288		
売 上 総 利 益	1,128	18.6	813	14.9	316		
販売費及び一般管理費	895	14.8	844	15.5	51		
営 業 利 益	233	3.8	△ 30	△ 0.6	264		
営 業 外 収 益	44	0.7	26	0.5	18	持分法投資利益	21
営 業 外 費 用	51	0.8	123	2.3	△ 71	為替差損	△ 72
経 常 利 益	227	3.7	△ 127	△ 2.3	354		
特 別 利 益	0	0.0	157	2.9	△ 156	投資有価証券売却益	△ 92
						受取保険金	△ 55
特 別 損 失	5	0.1	12	0.2	△ 7		
税金等調整前当期純利益	222	3.7	17	0.3	205		
法 人 税 等	103	1.7	51	0.9	52		
当 期 純 利 益	119	2.0	△ 33	△ 0.6	153		
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益	2	0.0	2	0.0	0		
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	116	1.9	△ 36	△ 0.7	153		

## 第70期 第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

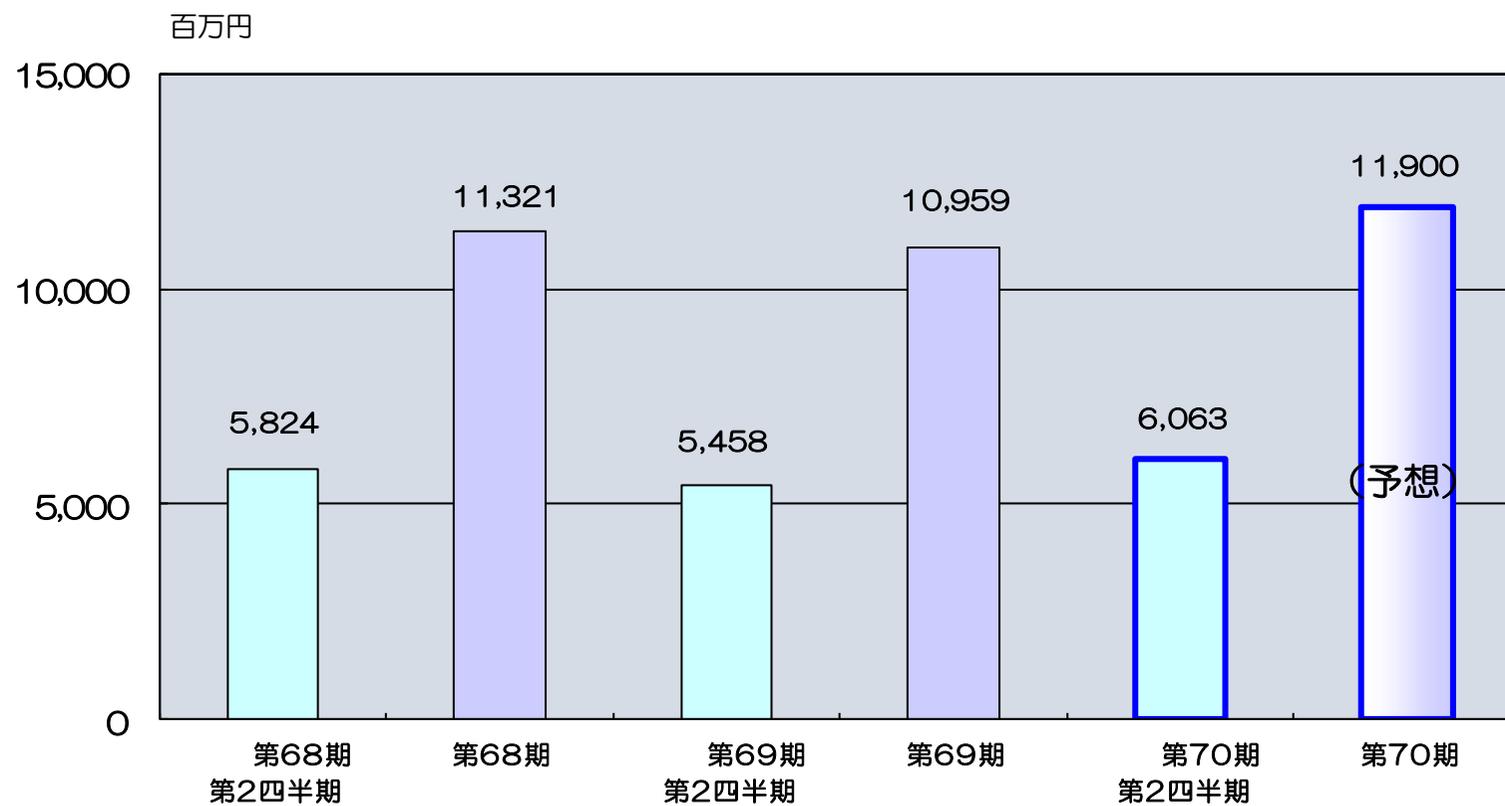
	第70期 第2四半期		第69期		対前期比	備 考	
	金額	%	金額	%			
流動資産	7,850	43.6	7,130	42.4	720	受取手形 売掛金 電子記録債権	87 377 247
固定資産	10,144	56.4	9,685	57.6	458		
有形固定資産	7,346	40.9	7,344	43.7	1		
無形固定資産	54	0.3	62	0.4	△ 8		
投資その他の資産	2,743	15.2	2,278	13.5	464	投資有価証券	437
<b>《資産合計》</b>	<b>17,994</b>	<b>100.0</b>	<b>16,817</b>	<b>100.0</b>	<b>1,177</b>		
流動負債	5,344	29.7	4,867	28.9	476	電子記録債務 一年以内返済予定長期借入金 未払金	278 74 104
固定負債	3,627	20.2	3,293	19.6	333	長期借入金 繰延税金負債	225 131
<b>《負債合計》</b>	<b>8,972</b>	<b>49.9</b>	<b>8,161</b>	<b>48.5</b>	<b>810</b>		
株主資本	7,982	44.4	7,914	47.1	67		
資本金	2,244	12.5	2,244	13.3	—		
資本剰余金	2,901	16.1	2,901	17.3	—		
利益剰余金	3,438	19.1	3,371	20.0	67		
自己株式	△ 603	△ 3.4	△ 603	△ 3.6	—		
その他の包括利益累計額	997	5.5	700	4.2	296	その他の有価証券評価差額金	300
非支配株主持分	43	0.2	40	0.2	2		
<b>《純資産合計》</b>	<b>9,022</b>	<b>50.1</b>	<b>8,655</b>	<b>51.5</b>	<b>367</b>		
<b>《負債・純資産合計》</b>	<b>17,994</b>	<b>100.0</b>	<b>16,817</b>	<b>100.0</b>	<b>1,177</b>		

## 第70期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

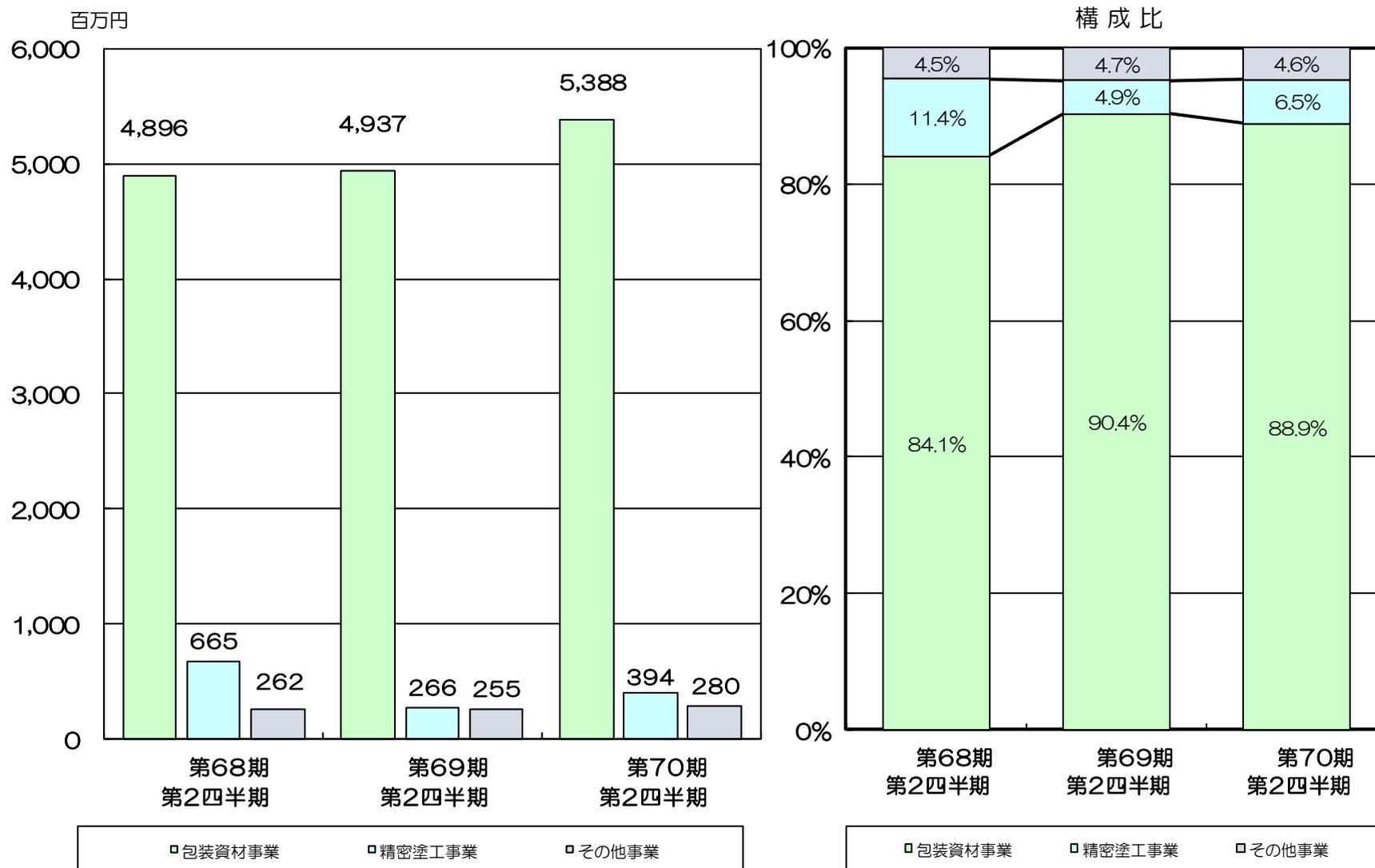
(単位：百万円)

	第70期 第2四半期	第69期 第2四半期	当第2四半期の特記										
営業活動によるキャッシュ・フロー	246	44	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">税金等調整前純利益</td> <td style="text-align: right;">222</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">360</td> </tr> <tr> <td>売上債権増加</td> <td style="text-align: right;">△ 657</td> </tr> <tr> <td>たな卸資産増加</td> <td style="text-align: right;">△ 25</td> </tr> <tr> <td>仕入れ債務増加</td> <td style="text-align: right;">289</td> </tr> </table>	税金等調整前純利益	222	減価償却費	360	売上債権増加	△ 657	たな卸資産増加	△ 25	仕入れ債務増加	289
税金等調整前純利益	222												
減価償却費	360												
売上債権増加	△ 657												
たな卸資産増加	△ 25												
仕入れ債務増加	289												
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 447	△ 103	有形固定資産取得 △ 422										
財務活動によるキャッシュ・フロー	241	596	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">長期借入金純増額</td> <td style="text-align: right;">299</td> </tr> <tr> <td>配当金支払</td> <td style="text-align: right;">△ 39</td> </tr> </table>	長期借入金純増額	299	配当金支払	△ 39						
長期借入金純増額	299												
配当金支払	△ 39												
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8	△ 34											
現金及び現金同等物の増減額	31	503											
現金及び現金同等物の期首残高	2,395	2,059											
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,427	2,563											

## 売上高の推移（連結）



## 事業別売上高（連結）

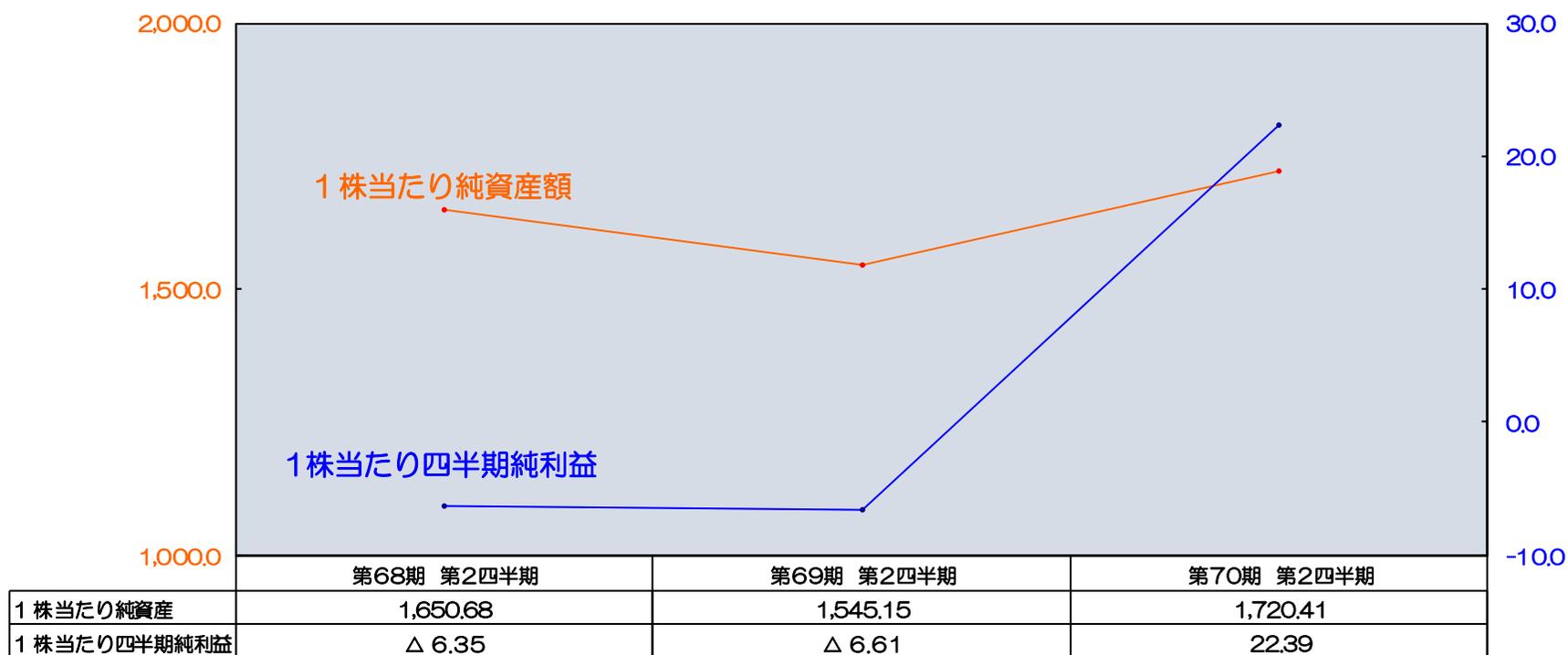


經營指標（連結）

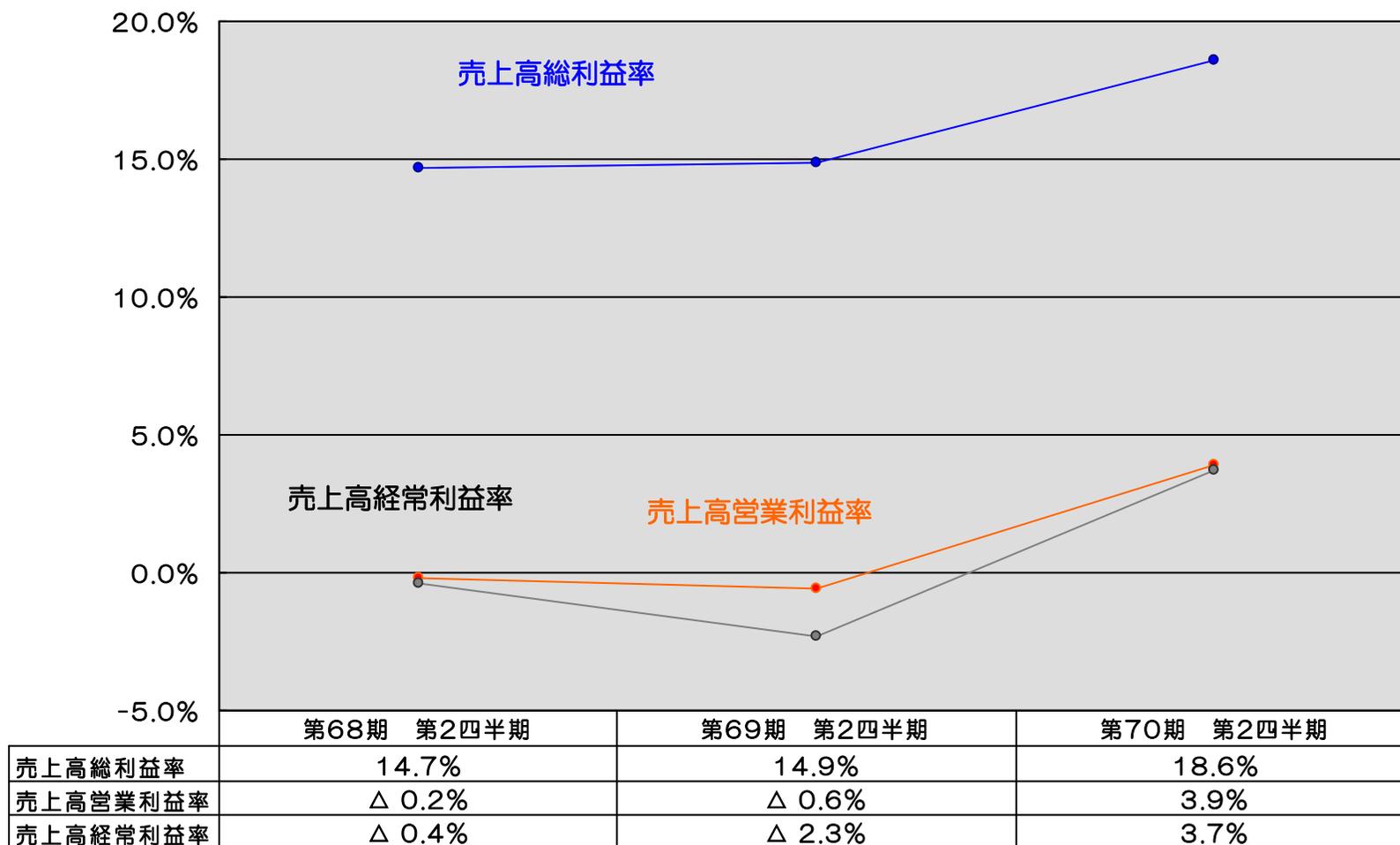
## 経営指標 I (連結)

1株当たり純資産額  
(円)

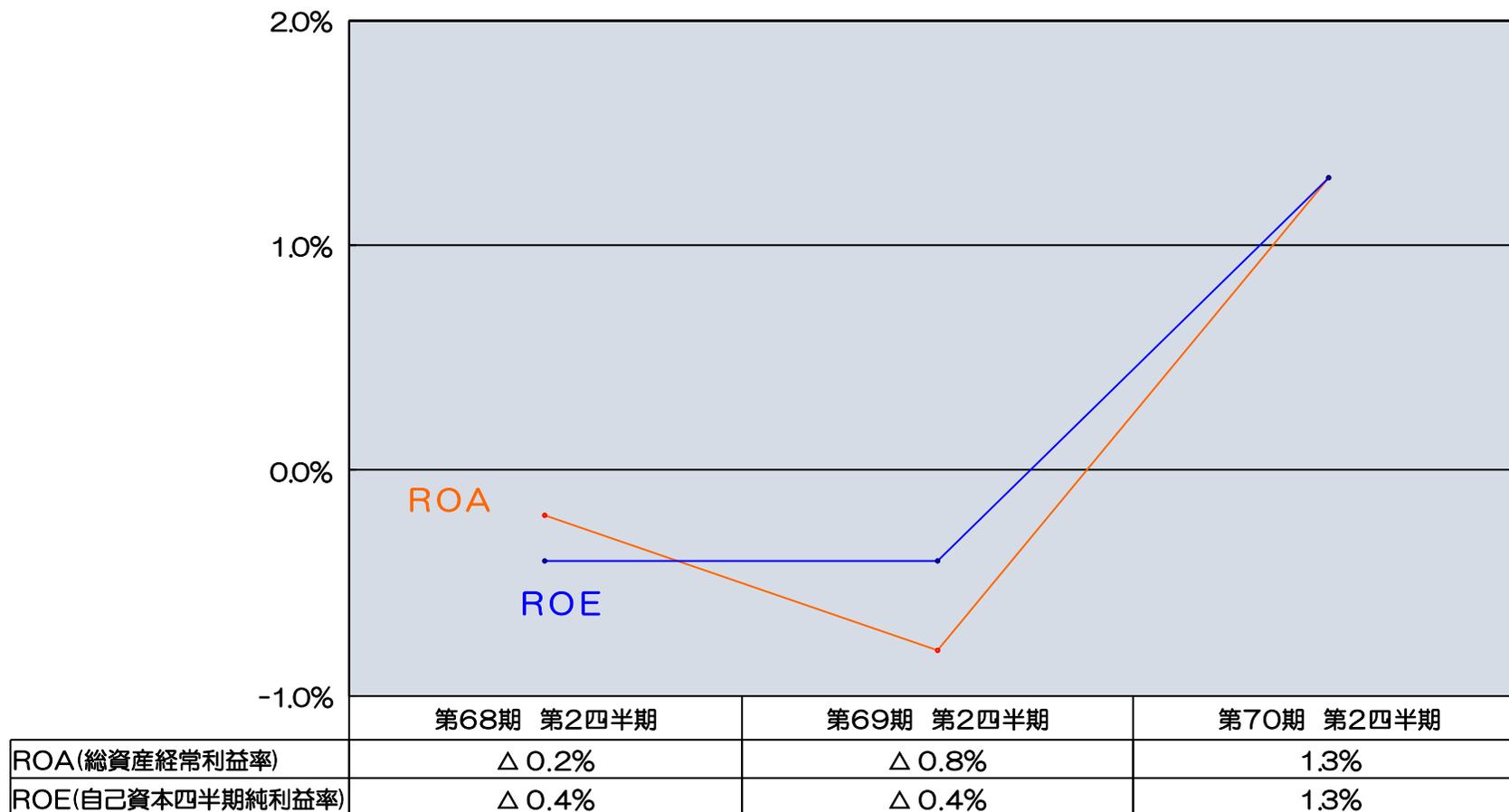
1株当たり四半期純利益額  
(円)



## 経営指標Ⅱ（連結）



## 經營指標Ⅲ (連結)



第70期 連結業績予想

## 第70期の連結業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、引き続き訪日観光客の増加傾向が続くことや海外経済の緩やかな回復に支えられ輸出も堅調に推移すると予想されます。

包装資材業界においては、個人消費が雇用者所得の改善が小幅にとどまることから低調に推移すると予想されることや、下期からの諸材料や運送費等の値上表明や人手不足に起因する人件費の増加などにより、引き続き厳しい事業環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、引き続き既存客先からの受注の維持・拡大、新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、工場の生産体制の整備や製造部門と製造間接部門が一体となった生産の効率化・安定化、品質保証の徹底などの諸施策推進を継続してまいります。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO.,LTD.）においても生産性をさらに向上させ、さらなる受注の拡大を図ってまいります。

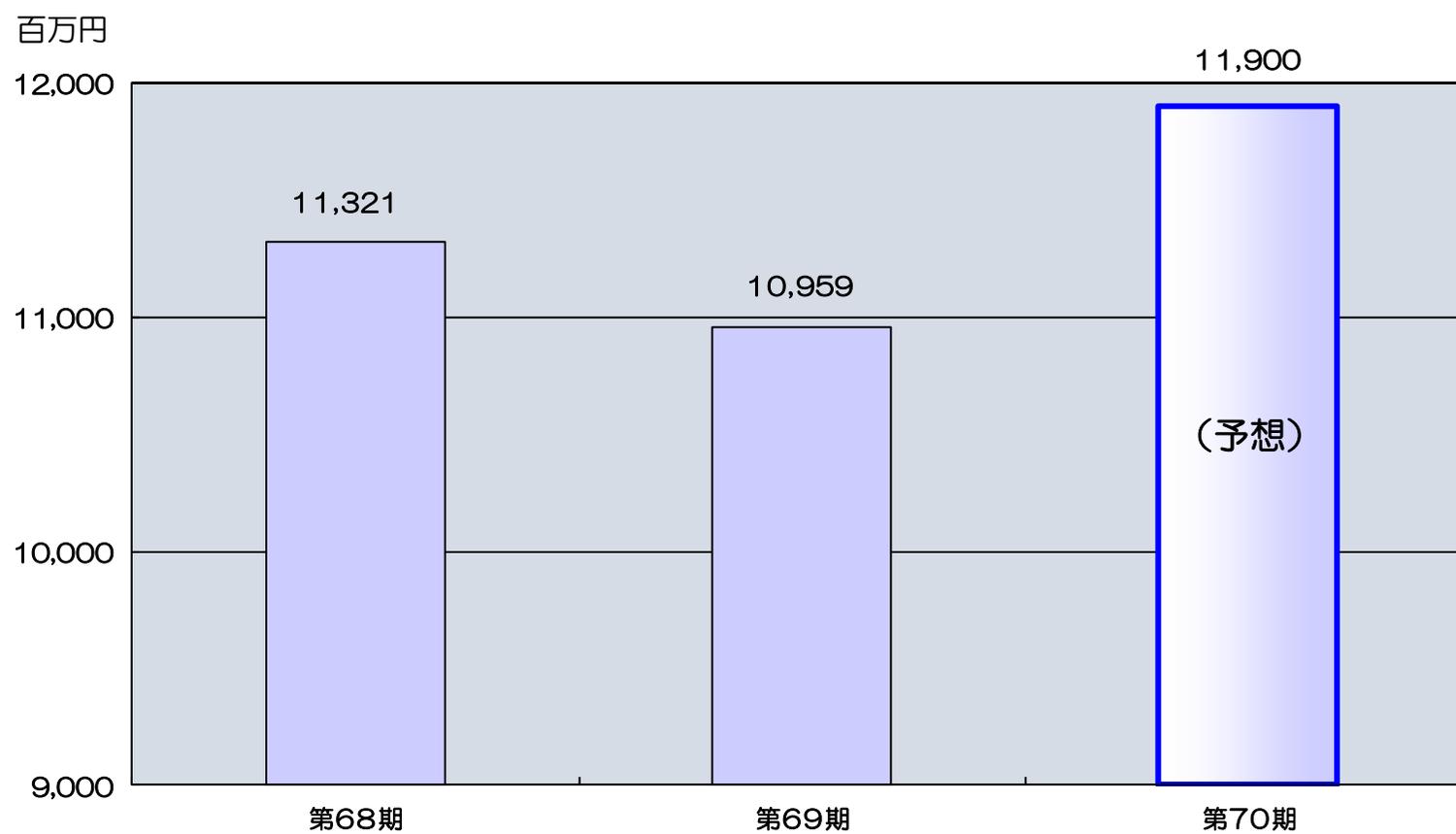
この結果、通期の見通しは、売上高11,900百万円、営業利益250百万円、経常利益250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益100百万円を見込んでおります。

## 第70期の連結業績予想

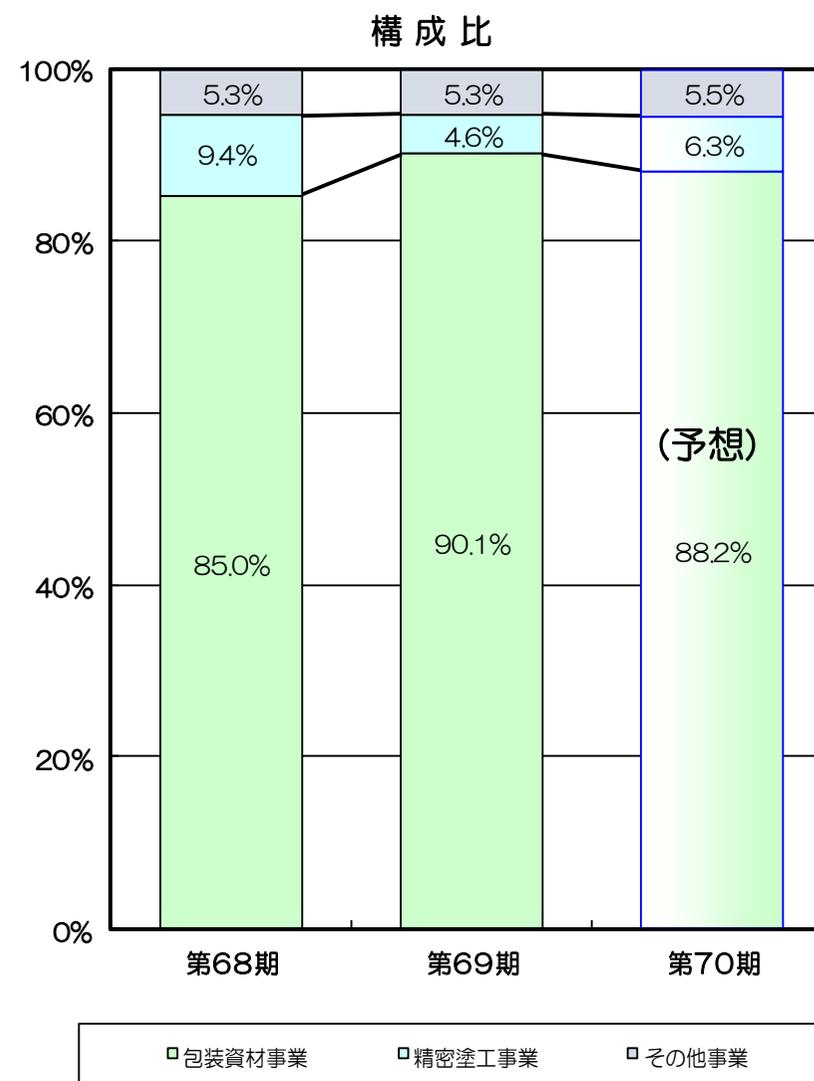
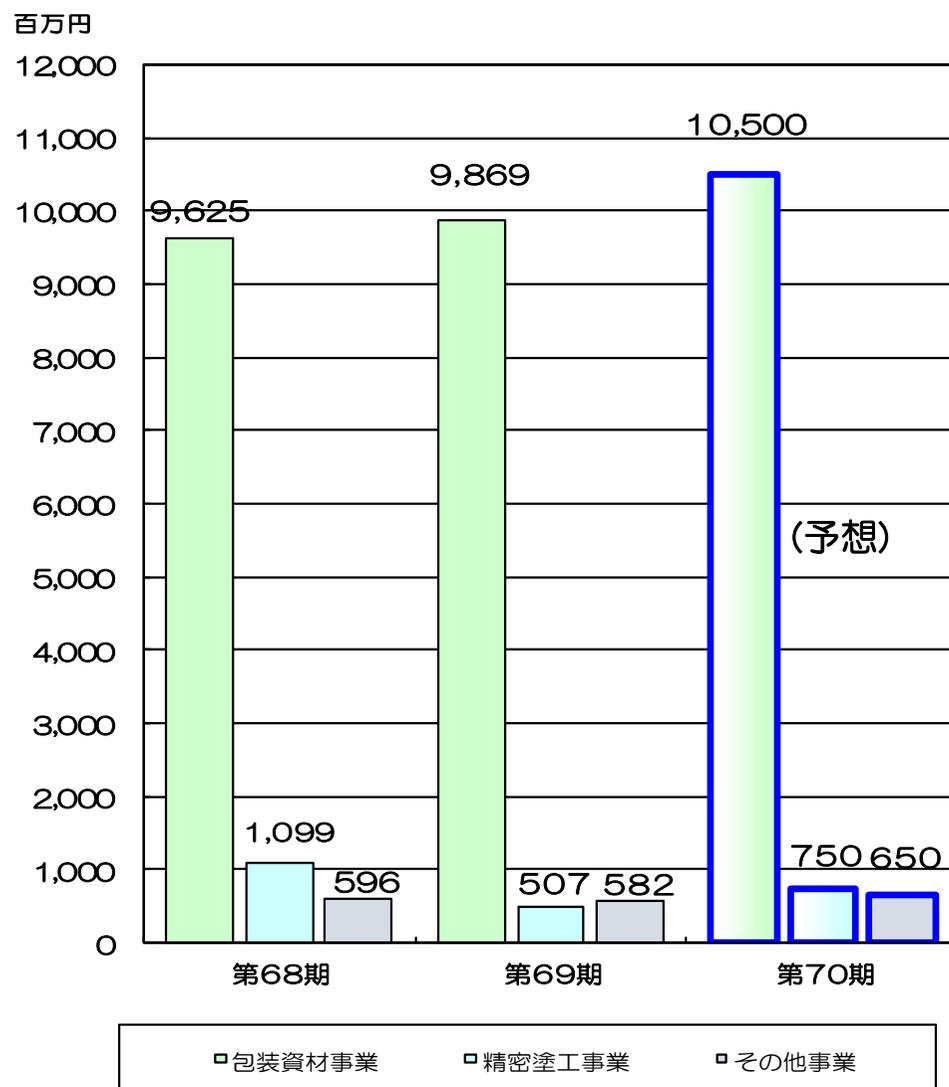
(単位：百万円)

	当第2四半期(実績)		通期(予想)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率
売上高	6,063	% 100.0	11,900	% 100.0
営業利益	233	3.9	250	2.1
経常利益	227	3.7	250	2.1
親会社株主に 帰属する 当期純利益	116	1.9	100	0.8

## 通期売上高(連結)



## 事業別売上高(連結)



## 経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

### <経営理念>

- お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- 夢と利益を追い、それが皆の幸福につながる

## 企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行ないません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

# トーン株式会社

## 《事業所》

### ◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2  
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

### ◎大阪営業所

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-27  
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

### ◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十倉二16-1  
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

### ◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5  
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

## 《子会社》

◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)  
タイ国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)  
ベトナム国ビンズン省

## 《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (PSC社)  
タイ国バンコク市



○ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131